

授業参観・人権教育講演会・引き渡し訓練

授業参観週間（6月19日～25日）最終日の6月25日（日）、各学年で人権をテーマにした授業参観と『人権教育講演会』『引き渡し訓練』を行いました。梅雨の合間の盛りだくさんの一日になりましたが、多くの保護者と学校運営協議会委員のみなさまにお越しいただきました。ありがとうございました。



1年「あなたはひかり」・・・大切な「いのち」を形であらわし、その形とそう考えた理由を班になって発表し合いました。そして、自分の命をもっと輝かせるために、大切にしていきたいことを考えました。また、事後に家族や知り合いの人から自分のよいところを宝物ファイルに書いてもらい、あたたかいメッセージに自分が大切にされているということを感じることができました。



2年「わたしのせいじゃない」・・・いじめ問題を取り上げた授業でした。登場人物の言い分に対して自分の考えをまとめたり、自分たちに足りないものは何かを考えたりしました。いじめを許さない強い気持ちと集団づくりをねらった授業でした。

3年「くちびるに歌をもて」・・・もしあと一日の命だったら何をするかをきっかけに、死という恐怖が目の前に来たらどうするかという教科書の登場人物の心情を考えました。また、人間のからだには自分の意志でコントロールできないところがあり、コントロールできない部分で生かされていることも多いことに気づきました。自分のため、人のためにこれから何ができるかを考えました。



【保護者のみなさんの感想から】

- ・正解や間違いのない道徳で、一人ひとりからとてもステキな言葉が出てきて、感動しました！
- ・個々の考えを言葉にして、グループで意見を共有して、発表の機会をたくさん設けていてよかった。タブレットに意見を貼り付け、グループだけでなく、全員の意見や考えを知ることができてよいと思った。
- ・いじめについての授業でした。親も子も参加型の授業で楽しかったです。
- ・いじめの問題というのは、毎回難しい課題だと思うが、自分の意見をはっきりと答えられていたので、成長を感じることができた。
- ・恥ずかしさも出てくるこの時期、道徳での発表は子どもたちにとって少し勇気もいるのかもしれませんが、どの子も指名されるとずっと思いを発表している雰囲気、日々のクラスの雰囲気が感じられたような気がしました。
- ・生徒の思いをうまく引き出しておられ、考えていく授業になっていた。子どもたちが人生において深く物事を考えて、自分たちで答えを導くことができる授業でした。

人権教育講演会終了後、緊急時や災害等を想定した『引き渡し訓練』を行いました。いざという時に備えて、真剣に行うことができました。



～大変お世話になりました！

「多様な性を生きる」～人権教育講演会

さまざまな人権課題に対する理解と実践力を高めることを目的に、「人権教育講演会」を実施しています。今年度は、LGBTQX など、性的マイノリティといわれる人たちと多様な性の在り方について、県内の各所で講演をされている元養護教諭の 佐伯里英子先生 をお招きして「多様な性を生きる」と題してお話を伺いました。



佐伯里英子先生の講演より

- 人の性別をはかる4つのものさし（体の性、心の性、好きになる性、表現する性）
- セクシュアリティ（人の性のありよう）を考える上で特に大切な2つのものさし（SOGI）ソジ
 - ① 心の性 （性自認・せいじにん） （Gender Identity）
 - ② 好きになる性 （性的指向・せいてきしこう） （Sexual Orientation）
- 多数派（セクシュアルマジョリティ）以外の人たち全部を含めて
セクシュアルマイノリティ（性的少数者：Sexual Minority）（11人に一人の割合）
- LGBT・・・とは、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）を総称する言葉として使われています
好きになる相手の性（性的指向）
 - L ： レズビアン・・・・・・（女性にひかれる女性）
 - G ： ゲイ・・・・・・（男性にひかれる男性）
 - B ： バイ・セクシュアル・・・・（男性にも女性にもひかれる）
 - T ： トランスジェンダー・・・・（体の性と心の性が異なる）心の性（性自認）
 - Q ： クエスチョニング・・・・（心の性で迷っている）
 - X ： エックスジェンダー・・・・（心の性が男女の枠に入らない）



◆YouTube 動画で学ぶこともできますので、ぜひご家族でごらんください。

埼玉県公式チャンネル

<https://www.youtube.com/watch?v=MsMqz7dyglw>

中学校向け教材

<https://rebitlgbt.org/project/kyozai/chugakko>

など

多様性を尊重する社会をめざし、日頃から言葉に気をつけることも大切ですね。「彼女(彼氏)はいるの?」ではなく「好きな人はいるの?」と言い換えること、「母親二人と子ども三人」のように多様な家族の形があることなど、学ぶことがたくさんありました。

【 生徒の感想から 】

- 今日の講演会で、LGBTQX について深く学ぶことができました。私は浅い知識しかありませんでしたが、知らない言葉もたくさん知れて、勉強になるものでした。「4つの物差し」で自分がどこにいるか考えてみました。「多様な性」についてしっかり考え、受け入れていきたいです。
- 性のあり方っていうのは、常識とか普通っていうのではなくて、一人一人がもっている「その人の人格の一部」であるということにすごく納得しました。性的マイノリティの方が、何不便なく暮らせる社会が当たり前にある世界に、私たちの手でしたいなと思いました。
- 今日は「多様な性を生きる」ことについての意味を理解することができました。今まで、男子が女子の格好をしたり、女子が男子の格好をしたりすることに対して、正直に言うと変だなと感じていました。しかし、それは変なことなんかではなくて、自分らしく生きていこうとしているだけで、みんなと変わらないんだなと思いました。